

2020 年度 明治大学

【文学部】

解答時間 60分



配点 100点

ろ

日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 原始・古代の政治・事件に関する次の文章 A・B を読み、下の設問に答えよ。

解答はマーク解答欄に記入せよ。

A 弥生時代には小国が分立するようになり、戦闘が行われていたことが中国の史書や、出土した人骨から知られるところである。邪馬台国は、それらの国々^(ア)をまとめる連合の中心として、魏国と使をやりとりしながら、しばらくの統治をした。

邪馬台国から連続するかは議論が分かれるが、倭の五王が統治していた時代は大型の前方後円墳が築造される。埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣銘文には、

の首とみえ、当時に役職があったことが窺える。

後の天皇となる大王を中心にした国家作りに向け、最初の女帝である

天皇の下に蘇我氏や厩戸王(聖徳太子)が、政治力を発揮した。

蘇我氏の専横を排除するべく中大兄皇子と中臣鎌足らによる乙巳の変が起こったが、 天皇が初めて退位をすることになった。直後から「大化の改新」という律令制度を進めていく政治改革が行われるとされるが、ほぼ確立するのは大宝律令の成立・施行を待つことになる。

律令制下では二官八省という官司制が整備され、都も 天皇の時に、中国の長安城に範をとった平城京に遷された。^(イ)

奈良時代の後半には、天皇位をめぐるいくつかの事件が散発する。なかでも法王道鏡が、偽作された宇佐八幡神の神託^(ウ)にかこつけて即位をもくろむ事件が起きている。

設 問

1 空欄 a に当てはまる語句として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 一大率 ② 典曹人 ③ 奉膳 ④ 典事人 ⑤ 杖刀人

2 空欄 b・c・d に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを、次の

①～⑧のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | b— 舒明 | c— 孝謙 | d— 元明 |
| ② | b— 舒明 | c— 斉明 | d— 元正 |
| ③ | b— 推古 | c— 孝謙 | d— 元正 |
| ④ | b— 推古 | c— 皇極 | d— 元明 |
| ⑤ | b— 持統 | c— 崇峻 | d— 元正 |
| ⑥ | b— 持統 | c— 皇極 | d— 元明 |
| ⑦ | b— 称徳 | c— 斉明 | d— 元明 |
| ⑧ | b— 称徳 | c— 崇峻 | d— 元正 |

3 下線部(ア)に該当しない国として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 伊都 ② 狗奴 ③ 奴 ④ 一支 ⑤ 投馬

4 下線部(イ)に関して、八省の官司名として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 内蔵 ② 宮内 ③ 中務 ④ 式部

5 下線部(ウ)の事件に関して、この宇佐八幡宮が所在した国名として正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- | | | |
|------|------|------|
| ① 筑前 | ② 肥前 | ③ 豊前 |
| ④ 筑後 | ⑤ 肥後 | ⑥ 豊後 |

B 平安時代の初期，病によって平城天皇が譲位すると，いわゆる二所朝廷の状態となり，薬子の变(平城太上天皇の变)が起った。 天皇は蔵人所^(注)を設置して，側近である藤原冬嗣らを頭に任じた。このように，律令制に規定がない官職を令外官^(注)という。

宇多天皇に重用された菅原道真是，その後の醍醐天皇代に至っても昇進を続けるが，延喜元年(901)に突如として大宰府に左遷された。これは，政敵である藤原時平の讒言のためともされ，ほどなく時平は亡くなった。

すぐ後に，撰関政治全盛期へとつながる家系となる時平の弟のが，『延喜格式』を完成に導いた。律令制度を補完する法令である格と式により，実態に即して法規定を変えていったのである。朝廷で行われる儀式もまた，年中行事として定着化する。しかし，儀式だけでなく政治運営も先例を重視するようになったため，反乱などの一大事に対する対応力が鈍化した。刀伊^(注)が入寇したような外寇もこの撰関期に起こっている。

藤原氏は以降の系統が，ほぼ天皇の外戚であり続け，摂政・関白に任じられることを中心として権勢を維持していく。だが，後三条天皇の親政を経て，再び天皇の父親という直接的な親族関係の太上天皇(上皇)が院政を開始し，藤原氏も天皇側と院側とに仕える先が分かれていくのである。

設問

6 空欄 e に当てはまる天皇名として正しいものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 仁明 ② 光仁 ③ 桓武 ④ 淳和 ⑤ 嵯峨

7 空欄 f に当てはまる人名として正しいものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 行成 ② 忠平 ③ 兼家 ④ 行平 ⑤ 基経

8 下線部(ア)に関して、葉子の兄で変に際して射殺された人名として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 仲成 ② 通憲 ③ 広嗣 ④ 仲麻呂 ⑤ 種継

9 下線部(オ)について令外官として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 中納言 ② 参議 ③ 少納言 ④ 勘解由使

10 下線部(カ)に関して、刀伊入寇の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 刀伊と呼ばれる女真族は、後に遼を建国した。
② 撰関家の藤原隆家が、大宰大貳として指揮して撃退した。
③ 飛駈が届いた朝廷は、小野好古を鎮圧のために差し向けた。
④ 九州の菊池氏などのように、この時参戦した者の子孫と伝える在地の武士がいる。

〔Ⅱ〕 中世に関する次の文章A・Bを読み、下の設問に答えよ。解答はマーク解答欄に記入せよ。

A 鎌倉時代は遠隔地を結ぶ商業取引もさかんに行なわれ、各地の港には商品の中継と委託販売や運送を業とする者がいた。売買の手段では米などの現物にかわって貨幣が用いられるようになり、平氏政権の時代から続く宋との貿易によりもたらされた宋銭が利用された。遠隔地間の取引には金銭の輸送を手形で代用する が用いられるなどした。中国との貿易は、宋から元に代わり文永の役・弘安の役前後においても、日本の商船の往来は絶えなかった。

(7) 各地の公領や荘園においても米の代わりに銭で収める代銭納が浸透し、名主から地頭や荘園領主への貢納が現金化した。しかし、名子などの作人から名主へ納める加徴米の一種である については現物納であったと考えられる。

設 問

1 空欄 a に当てはまる語句として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 割符 ② 頼母子 ③ 過所 ④ 勘合符 ⑤ 銭札

2 空欄 b に当てはまる語句として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 年貢 ② 兵糧米 ③ 公事 ④ 加地子 ⑤ 夫役

3 下線部(ア)について、鎌倉時代の港湾の説明として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 朝比奈切通で鎌倉と結ばれていた六浦は、自然島のため荷積み荷下ろしに不便であった和賀江島に代わり鎌倉の内港として栄えた。
- ② 音戸瀬戸を前身とする兵庫の港は、平安時代から繁栄しており、この港からの津料は源平合戦により焼失した興福寺復興にあてられ、その復興に尽力した重源が徴税を行なった。
- ③ 北海道渡島半島の先端にある十三湊は、もともとは奥州藤原氏が開港したとも伝えられるが、鎌倉時代には蝦夷管領となった武藤氏が幕府公認の水軍として活躍した。
- ④ 中世の東京湾において神奈川と並び重要な位置をしめていた品川の港は、紀伊方面の熊野三山関連の船などが活発に運航し、鎌倉幕府執権北条氏により直接支配され町人地と百姓地に区分されていた。
- ⑤ 幕府が置かれている鎌倉の内港には、材木などが陸揚げされていたと考えられ、ここの管理と津料の徴収は慈善救済事業を幅広く行っていた忍性以来、極楽寺の権限であった。

4 下線部(イ)について、日本へ輸入された宋代の書物のうち、平清盛も手に入れたとされる類書(百科事典)を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 大蔵経 ② 唐詩選 ③ 太平御覽
- ④ 貞観政要 ⑤ 樂毅論

5 下線部ウ)について、文永の役・弘安の役に関する説明として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 元の襲来後、鎌倉幕府によって九州における軍事的御家人統率および訴訟裁断を目的として、筑前国博多に鎮西探題の代わりに新たな統治機関として鎮西奉行を置いた。
- ② 弘安の役後、元のフビライは再度日本へ趙良弼を使節として日本へ派遣するが、8代執権北条時宗は使節を鎌倉に連行し、龍ノ口の刑場にて斬首に処した。
- ③ 元は日本侵攻前に高麗を服属させたが、高麗王朝の軍事組織の三別抄が珍島や濟州島にて抵抗運動を行ない、日本へ遠征予定の部隊も投入しなければならなくなり、文永の役へ影響を与えたとされる。
- ④ 二度にわたる元の襲来の後、三度目の侵攻に備えるため九州北部の沿岸を中心に異国警固番役を初めて置き、九州の御家人・非御家人を問わず警備につかせた。
- ⑤ 元の襲来に際し、後深草上皇は太宰府天満宮へ異国調伏祈祷を命じ、安芸・筑前国の官物をあてるとともに、「敵国降伏」の四字が書かれた宸筆も寄進し、扁額として神門に掲げられた。

B 室町時代は好学の風潮が高まり、朝廷では日本の古典に関する講義なども行なわれた。『源氏物語』に至っては北朝と南朝それぞれに注釈書が作られ、足利義詮^(エ)の命によって撰進した四辻善成による [c] や、南朝の長慶天皇による [d] があげられる。また、民衆の地位の向上とともに識字率も高まっていき、教育の水準も向上した。例えば、貿易港として栄えた堺^(オ)では、学問熱が起り『論語』の出版が行なわれ、南北朝期には道祐による [e] 、戦国期には阿佐井野宗瑞による [f] が刊行されている。そして、下野国では足利学校にて高度な教育が施された。

(カ) 初等の教育においては、書簡に用いられた単語・単文を集めた往来物が教科書として用いられた。往来物は、室町時代では一条兼良^(キ)の作と伝えられる [g] や、江戸時代以降も初等教育にて盛んに用いられることとなる玄恵が作者ではとされる [h] があげられる。

設 問

6 空欄 c～h に入る作品名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑧のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|---|------------------|-----------------|-------------------|
| ① | c 仙源抄
f 天文版論語 | d 河海抄
g 庭訓往来 | e 正平版論語
h 尺素往来 |
| ② | c 仙源抄
f 天文版論語 | d 河海抄
g 尺素往来 | e 正平版論語
h 庭訓往来 |
| ③ | c 仙源抄
f 正平版論語 | d 河海抄
g 庭訓往来 | e 天文版論語
h 尺素往来 |
| ④ | c 仙源抄
f 正平版論語 | d 河海抄
g 尺素往来 | e 天文版論語
h 庭訓往来 |
| ⑤ | c 河海抄
f 天文版論語 | d 仙源抄
g 庭訓往来 | e 正平版論語
h 尺素往来 |
| ⑥ | c 河海抄
f 天文版論語 | d 仙源抄
g 尺素往来 | e 正平版論語
h 庭訓往来 |
| ⑦ | c 河海抄
f 正平版論語 | d 仙源抄
g 庭訓往来 | e 天文版論語
h 尺素往来 |
| ⑧ | c 河海抄
f 正平版論語 | d 仙源抄
g 尺素往来 | e 天文版論語
h 庭訓往来 |

7 下線部(エ)について、足利義詮に関する説明として誤っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 父足利高氏(尊氏)が鎌倉幕府の六波羅探題を攻めると、幼い千寿丸(義詮)は父の名代として新田義貞の軍勢とともに鎌倉攻めに加わった。
- ② 父足利尊氏の執事高師直と叔父の足利直義の対立に端を発した観応の擾乱が起こると、義詮は鎌倉から京都に呼び戻され幕府の政務を任せられた。
- ③ 義詮から北朝の後光厳天皇への奏上により、19番目の勅撰和歌集『新拾遺和歌集』の編集の命が下った。
- ④ 義詮の將軍在任中は南北朝の争乱期であり、各地の武士団は内部に分裂と対立を引き起こし、血縁的結合より地縁的結合が重視されるようになった。
- ⑤ 義詮は重病に陥り死期を悟ると、嫡男足利義満がまだ幼かったため、今川貞世を管領とし義満の後見を託した。

8 下線部(オ)について、堺は足利義満の守護統制により領有する守護が変化している。義満の政策による堺の領有者の変遷として正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 山名氏→細川氏→大内氏
- ② 山名氏→大内氏→細川氏
- ③ 大内氏→山名氏→細川氏
- ④ 大内氏→細川氏→山名氏
- ⑤ 細川氏→山名氏→大内氏
- ⑥ 細川氏→大内氏→山名氏

9 下線部(カ)について、足利学校に関する説明として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 全国から来て学ぶ者が多く、キリスト教宣教師ヴィレラにより坂東の大学と紹介されたように、学校門の扁額には「大学」と記されている。
- ② 金沢文庫の所蔵本に精通していた円覚寺の僧万里集九は、足利学校から招かれて初代の学校長となり、おもに禅学を講じていたといわれる。
- ③ 創建には諸説あるが、一時衰退していた足利学校を再興したのは北条実時とされ、校規を定め、明版の経典を学校に寄進するなど、その後の繁栄の礎を築いた。
- ④ 足利学校の校長は庠主(しょうしゅ)といい、医書を講じた第四世九天や、兵書を講じた第七世九華などの名が知られる。
- ⑤ この地を訪れた能楽師の宗祇は、一日中頭を垂れて学問に励む学徒を目の当たりにし「かしこくかつあはれに見侍り」と記している。

10 下線部(キ)について、一条兼良の著作として誤っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 樵談治要 ② 古今集童蒙抄 ③ 江次第抄
- ④ 公事根源 ⑤ 菟玖波集

〔Ⅲ〕 近世の政治・外交に関する次の文章A・Bを読み、下の設問に答えよ。解答はマーク解答欄に記入せよ。

A キリシタン禁令は天正15年(1587)6月19日付のバテレン追放令に始まる。
^(ア)秀吉はこの法令で日本を「 国」とし、「 国」と対置させている。また、バテレンが国郡の領民を帰依させ、神社・仏閣を破却させたことを非難している。大名に対しては、国郡を知行として^(イ)、と知行制の原則を述べ、違反の場合は天下の法にしたがって処罰すると命じた。

法文をよく読むと、秀吉が危惧したのは、「 国」の「」が国郡の人々の信仰心をとらえることであったと考えられる。織田政権下の武將として、 との間の激しい戦いを経験した秀吉は、宗教勢力が蜂起した時の恐ろしさを、身をもって知っていた。秀吉はバテレンらが神社・仏閣を破却したことを責めているが、この破壊行為からも、キリシタンに石山本願寺^(ウ)以上の大きな脅威を感じとったかもしれない。

設 問

1 空欄 a・b に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥から一つ選べ。なお「」内は、史料の引用部分である。

- | | |
|-------------|----------------|
| ① a 武威・b 南蛮 | ② a 武威・b きりしたん |
| ③ a 神・b 南蛮 | ④ a 神・b きりしたん |
| ⑤ a 仏・b 南蛮 | ⑥ a 仏・b きりしたん |

2 空欄 c に入る文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 永久に付与する | ② 農民に与えてはならない |
| ③ 外国に与えてはならない | ④ 与えるのは一時のことである |

3 空欄 d・e に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥から一つ選べ。なお「 」内は、史料の引用部分である。

- ① d 邪法・e 浄土宗 ② d 邪法・e 一向宗
③ d 魔法・e 日蓮宗 ④ d 魔法・e 浄土宗
⑤ d 異法・e 一向宗 ⑥ d 異法・e 日蓮宗

4 下線部(ア)に関する統一政権の政策 a～d の順番として正しいものを、次の①～⑧から一つ選べ。

- a 九州北部を中心に絵踏を強化し、寺請制度を設けて宗門改めを実施した。
b 長崎で宣教師と信徒ら 55 名を火刑、斬首にした。この事件は「元和の大殉教」といわれている。
c 全国的に禁教令を出し、宣教師と高山右近ら約 300 名を海外に追放した。
d 土佐浦戸沖にスペイン船が漂着したあと、26 名の宣教師と信徒を長崎で処刑した。

- ① a→b→c→d ② b→c→d→a ③ c→d→a→b
④ d→a→b→c ⑤ d→c→b→a ⑥ c→b→a→d
⑦ b→a→d→c ⑧ a→d→c→b

5 下線部(イ)に関して、この本文の時代の建造物として、正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 白水阿弥陀堂 ② 万福寺大雄宝殿 ③ 都久夫須麻神社本殿
④ 東大寺南大門

6 下線部(ウ)に関して、石山へ移転する前に本願寺が創建された地名として、正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 白川 ② 山科 ③ 吉田 ④ 高田

B 日本との通商を求めてロシアからラクスマンが来航した。対応した当時の老中首座松平定信は、鎖国を理由にこの使節をすぐに拒絶せず、対応策を協議した。この段階で幕府には、日本の対外関係を鎖国と認識し、外国と接する姿勢がまだなかったことがわかる。

定信は、海防強化を命じる一方、ロシアとの通商について検討を重ねた。最終的に幕府の見解は、「異国人に、御国法を諭される書」という文書にまとめられ、ラクスマンに渡された。そこには、日本の対外関係は「古より、通信(国家の外交関係)・通商(商業貿易のみの関係)」の二種類に限定されているとし、それ以外の新しい関係を外国と持つことは容易に許すことができない、と書かれていた。ロシア皇帝エカチェリーナからの国書は、「通信」の国からではないことを理由に、受理を拒否されたのである。

設問

7 この事件が起こった当時の将軍と天皇の名の組み合わせとして、正しいものを、次の①～⑥から一つ選べ。

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 徳川家治 — 光格天皇 | ② 徳川家治 — 後桃園天皇 |
| ③ 徳川家斉 — 光格天皇 | ④ 徳川家斉 — 仁孝天皇 |
| ⑤ 徳川家慶 — 仁孝天皇 | ⑥ 徳川家慶 — 孝明天皇 |

8 下線部(カ)の主導した政策の説明として、誤っているものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 最上徳内らを蝦夷地に派遣し、その開発やロシア人との交易の可能性を調査させた。
- ② 全国で公金の貸付をおこない、各地に社倉・義倉をつくらせた。
- ③ 治安対策として石川島と佃島のあいだの三角州に人足寄場を設けた。
- ④ 旗本、御家人らの生活を安定させるため、札差に貸金を放棄させる棄捐令を出した。

9 下線部(オ)に関連する出来事 a～d の順番として、正しいものを、①～⑧から一つ選べ。

a 長崎にイギリス船フェートン号が侵入し、幕府は白河・会津両藩に江戸湾の防備を命じた。

b 幕府は松前藩と蝦夷地をすべて直轄にして松前奉行の支配下におき、東北諸藩に警護を命じた。

c ロシア使節からの要求を聞いた幕府は、江戸湾と蝦夷地の海防の強化を諸藩に命じた。

d 幕府は法令を出し、「南蛮・西洋の儀は、御制禁邪教の国」であるため、入港しようとする異国船は「二念無く」打ち払え、と命じた。

- ① a→b→c→d ② b→c→d→a ③ c→d→a→b
④ d→a→b→c ⑤ d→c→b→a ⑥ c→b→a→d
⑦ b→a→d→c ⑧ a→d→c→b

10 下線部(カ)に関して、ラクスマン来航の時期の外交関係の説明として、正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 中国からは民間商船が長崎に来航したが、船数は制限されていた。

② オランダ東インド会社は肥前の平戸に商館を置き、海外情報を日本にもたらした。

③ 朝鮮通信使が持参した国書の宛名には、「日本国王」と記されていた。

④ 琉球からは徳川将軍の代わり時に、それを祝う謝恩使が派遣されていた。

〔IV〕 次の史料A～Cは、19世紀に日本と外国との間で結ばれた条約である。史料を読み、下の設問に答えよ。解答は記述解答欄に記入せよ。なお、史料は書き改めたところもある。

史料A

第三条 合衆国の船、日本海浜漂着の時扶助致し、其漂民を下田又は に護送し、本国の者受取申すべし。(中略)

第十一条 両国政府に於て、扨なき儀これ有り候模様により、合衆国官吏の者、^(ア)下田に差置候儀もこれ有るべく、尤も約定調印より十八ヶ月後にこれ無く候ては、其儀に及ばず候事。 (『幕末外国関係文書』)

史料B

第一条 向後日本大君と、^(イ)亜墨利加合衆国と、世々親睦なるべし。(中略)

第二条 日本国と欧羅巴中の或る国との間に、差障起る時は、日本政府の囑に応じ、合衆国の大統領、和親の媒となりて扱ふべし。(中略)

第三条 下田・ の外、次にいふ所の場所を左の期限より開くべし(中略)。^(ウ)

第五条 外国の諸貨幣は、日本貨幣同種類の同量を以て通用すべし。金は金、銀は銀と、^(エ)量目を以て比較するをいふ。 (『幕末外国関係文書』)

史料C

第一条 兩締盟国の一方の臣民は、他の一方の版図内、何れの所に到り、旅行し或は住居するも、^(オ)全く随意たるべく、而して其の身体及財産に対しては、完全なる保護を享受すべし。

該臣民は其の権利を伸張し、及防護せんが為め、自由に且容易に裁判所に訴出ることを得べく、又該裁判所に於て其の権利を伸張し及防護するに付内国臣民と同様に代言人、弁護人及代人を選択し、且使用することを得べく、而して右の外司法取扱に関する各般の事項に関して、内国臣民の享有する総ての権利及特典を享有すべし。 (『大日本外交文書』)

設 問

- 1 空欄に当てはまる港を，当時の地名で漢字で記せ。
- 2 史料Aの条約が結ばれた当時，幕政を主導していた老中首座の姓名を漢字で記せ。
- 3 下線部(ア)に関し，アメリカ合衆国が下田に総領事として最初に派遣した人物の名を記せ。
- 4 史料Bに関し，この条約の勅許を求めて京都に入った老中首座の姓名を漢字で記せ。
- 5 下線部(イ)に関し，この条約が調印された当時の「日本大君」の姓名を漢字で記せ。
- 6 下線部(ウ)に関連し，この条約により長崎とともに1859年に開港する場所と定められた港の地名を漢字で記せ。
- 7 下線部(エ)に関連し，当時の日本と外国における金と銀の交換比率の差に対応して鑄造された，小判の名を漢字で記せ。
- 8 史料Bの条約を批准するために派遣された使節団に随伴し，日本とアメリカを最初に往復した，日本の軍艦の名を漢字で記せ。
- 9 史料Cの条約名を漢字で記せ。
- 10 下線部(オ)に関し，外国人の日本国内における旅行・居住を自由化する措置は，当時は何と呼ばれたか，漢字で記せ。

〔V〕 近現代に関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。解答は記述解答欄に記入せよ。

第一次世界大戦(1914～18年)は、日本が日露戦争以来の経済不況を脱するきっかけになった。とくに重化学工業の発達は目覚ましく、産業の基盤は農業から工業へと転換し、その原動力の筆頭は 力から電力へと移行した。首都であり多くの工場地域をかかえる東京へは、福島県下の からの長距離送電により大量供給されるようになった。

他方で、大戦の影響は、人びとの運動や社会制度のあり方にも及んでいった。

急激な経済発展にともなう物価上昇で、下層農民らの生活は逼迫した。1918年には米の安売りなどを求める暴動が各地で頻発し、参加者総勢約70万人の大騒擾に発展した。大戦前からつづく政治の民主化を求める動きもさらに強まった結果、同年中には の総裁・原敬を首班とする本格的政党内閣が発足した。ただし、原内閣は国民の政治参加の拡大には慎重で、選挙人資格の緩和は小幅なものにとどまった。

もっとも、好況は長くは続かず、大戦終結からまもなく恐慌が発生し、ついで、1923年の関東大震災は首都圏に甚大な被害をおよぼした。震災直後には自警団が朝鮮人らを殺傷する事件も発生したが、その背景には日本の植民地支配に対する抵抗運動への恐怖心などがあつたとみられる。

東京の復興事業は、内務大臣の を総裁とする帝都復興院が主導した。また、国内外からの義捐金を元手に設立された は、耐震性の高い共同住宅を被災地に供給した。

総じて、第一次・第二次の両大戦をはさむ戦間期には、都市部を中心に交通機関や大規模小売店、娯楽施設などの整備が進んで大量消費社会が芽生える一方、都市と農村のあいだの経済格差は解消されなかった。

設 問

- 1 空欄 a に当てはまる語句を、漢字で記せ。

- 2 空欄 b に当てはまる発電所の当初の名前を，漢字で記せ。
- 3 空欄 c に当てはまる政党の正式名称を，漢字で記せ。
- 4 空欄 d に当てはまる人物の姓名を，漢字で記せ。
- 5 空欄 e に当てはまる団体名を，漢字で記せ。
- 6 下線部(ア)のうち，薬品や肥料などの化学分野が勃興したのは，大戦当事国からの輸入が途絶えた結果であった。その当事国とはどこか，国名を記せ。
- 7 下線部(イ)の結果，倒れた内閣の首相の姓名を，漢字で記せ。
- 8 下線部(ウ)の内容を，20 字以内で記せ。
- 9 下線部(エ)に関し，1919 年に朝鮮全土で起きた運動の名称を漢字で記せ。
- 10 下線部(オ)について，私鉄やデパート，宝塚少女歌劇団の創設など，関西圏における動きを牽引した人物の姓名を漢字で記せ。

